

宇宙のダダ - 深宇宙彫刻DESPATCHからのデータを用いた実験詩

Dada in Space - Experimental Poetry using the Data from ARTSAT2:DESPATCH

久保田晃弘（多摩美術大学）

2014年12月3日、多摩美術大学と東京大学が中心となって進めてきた、ARTSATプロジェクト2号機の深宇宙彫刻「DESPATCH」が、主衛星「はやぶさ2」を搭載したH-IIAロケット26号機の相乗りペイロードとして地球脱出軌道に投入され、人工小惑星となった。50cm立方、重量32kgのDESPATCHは、3Dプリンタで制作された渦巻き状の造形（彫刻）部を有した宇宙のランドアート作品である。

DESPATCHは自律的に作動するコンピュータを搭載したビークルメディアであり、機体に搭載された各種センサーの値からアルゴリズムに生成された詩を地球に向けて送信した。詩の内容はダダの詩人、フーゴ・バルの音響詩「Gadji Beri Bimba」を4文字ごとにカットアップ&リミックスしたもので、深宇宙からの極めて微弱な電波は世界各地のアマチュア無線家の協力によって、最遠470万Km（月までの距離の約12倍）の彼方から受信できた。

2度と地球に戻ることなく太陽の周りを永遠に周回し続けるDESPATCHは、未来の人類、あるいはそれに代わる知的生命体へのタイムカプセルでもある。DESPATCHには、厳しい宇宙環境の中で劣化していく機体のデッサン/イラストと設計図/開発資料、写真やメッセージが彫られたマイクロ・ロゼッタストーンとしてのMEMSメモリーが搭載されていて、それが再び発見される日を待ち続ける。

今回の「ダダイズム100周年」ダダ・フェスティバル東京では、地球のはるか彼方から送信されたこのDESPATCHの宇宙詩のデータをベースに、プログラムコードや3Dプリンタのような、新しいメディアを活用した、さまざまな詩作の実験を行う。それらは、あるものはグラフィックス、あるものは立体オブジェクト、あるものはディスプレイ上の映像音響、またあるものはリアルタイムのパフォーマンスとして、7月15日にアンスティチュ・フランセ日本で開催される「ダダ・ナイト」や、スーパーデラックスでの「キャバレー・ヴォルテール」等で披露される予定である。

実験詩の第2世紀 - The Second Century of Experimental Poetry

- 深宇宙からのデータとプログラム・コードから生成される生成詩
- プログラム・コードとして実行することができる実行詩
- データとフォルムが一意に対応した3Dプリンターで造形する立体詩
- コードをリアルタイムに操作することから生まれるライブコーディング詩



DESPATCHから送られた宇宙詩

ROSE LENG BIMN
BLCK IOLA ITAL BLCK ROSE LITA LENG HOGE KATA
ROSE LAUL LAUL
BLCK IMBA LOOO OAOL AHN*
BLCK ROSE
CERS LITA LONG MBAL BERI BLCK ROSE HOPS IOLA LOMI
BERI
ITAL

- ・ ARTSAT Project - <http://artsat.jp>
- ・ ARTSAT Facebook - <https://www.facebook.com/artsat>
- ・ ARTSAT2:DESPATCH - <http://despatch.artsat.jp/>
- ・ ARTSAT GitHub - <https://github.com/ARTSAT>
- ・ ARTSAT Vimeo - <https://vimeo.com/user13272107>

Dada in Space Temporal Web Page - <https://goo.gl/ZxKef7>